



宍道高校図書館だより〈地域版〉

令和元年
12月17日発行
2019年度第9号

この「図書館だより」は、宍道高校ホームページでもご覧いただけます。

2019年を 振り返る

平成最後の年、そして令和元年である2019年が間もなく終わりますね。

宍道高校では、NIE（教育に新聞を）の一環として、この1年の「流行語」と「10大ニュース」に投票を行いました。

○2019ユーキャン新語・流行語大賞

大賞：「ONE TEAM（ワンチーム）」（ラグビー日本代表のスローガン）

特別賞：「後悔などあろうはずがありません」（イチロー選手の引退会見の言葉）

宍道高校で1位に選ばれた流行語：「タピる」（タピオカドリンクのブーム）

○宍道高校で選ばれた2019年10大ニュース（読売新聞掲載の項目を参考）

- 1位 天皇陛下が即位、「令和」に改元
- 2位 京都アニメーション放火、36人死亡
- 3位 消費税率10%スタート
- 4位 沖縄・首里城が消失
- 5位 高速道で「あおり運転」、男を逮捕
- 6位 東日本で台風大雨被害、死者相次ぐ
- 7位 ラグビーW杯日本大会開幕、日本8強
- 8位 マリナーズ・イチローが引退表明
" 東京・池袋で高齢者ドライバーが暴走事故、母子死亡
- 10位 テニス・大坂なおみが全豪オープンV
" セブン、24時間営業見直し発表



来年が良い年であり
ますように

宍道高校図書館は地域の方もご利用になれます

利用できる方

宍道町内在住の18歳以上の方
(登録時に住所等確認できるものがが必要です。)

利用できる日時

月曜～金曜 午前10時～午後4時

休校日や、学校行事・授業等により
利用できない場合もあります。

貸出 一人5冊まで2週間 借りられます。

お問い合わせは
宍道高校 (TEL. 0852-66-7577)
図書館 渡部まで

12～1月の地域開放日

■ 利用できない日

日	月	火	水	木	金	土
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

利用できる時間：午前10時～午後4時

事務室前の返却ポストは、
平日の朝7時半～夕方7時まで
(ただし、12月28日～1月5日は閉校です)

新着図書案内



科学・技術の本

○はたらく数学

25の「仕事」でわかる数学の本当の使われ方。

○ビジュアル物理全史 (岩波書店)

クリフォード・ピックオーバー/著

紀元前のビッグバンから、現代・未来の話題まで。

○ダーウインの「種の起源」はじめての進化論

サビーナ・ラデヴァ/作・絵(岩波書店)

進化論を絵本でわかりやすく解説。

○世界でいちばん素敵な建築の教室

世界遺産から高層ビルまで、「なぜ？」がわかる。

○鳶 とび 上空数百メートルを駆ける職人のひみつ

現役の鳶職人が語る、仕事の現場ややりがい。

○図解でわかる14歳からのプラスチックと環境問題

○トコトンやさしい異常気象の本

○トコトンやさしい自動運転の本

○トコトンやさしいロボットの本

○日本刀の科学



経済・社会問題

○ゼロから始める！マンガFX入門

○ゼロから始める！マンガ株入門

○外国人労働者受け入れを問う (岩波書店)

多文化社会をともに生きるために。

○過労死110番 働かせ方を問い続けて30年

過労死のない社会をめざす取り組みの記録。

○介護職がいなくなる

ケアの現場で何が起きているのか

なぜ介護職は敬遠され、離職者が多いのか。

外国人介護職やAIを含め、これからを考える。

○地域の食をブランドにする！

「食のブランド化」のためのテキストの作り方や、地域振興のための具体的な宣伝方法を紹介。

趣味・実用

○笑う回文教室

「わたしまけましたわ」のように

上から読んでも下から読んでも同じ

ことばで頭をやわらかくしましょう！

○体幹を鍛える最強のトレーニング BEST50

肩こり・腰痛・姿勢などの改善に役立ちます。



小説・エッセイ・手記

○ラストレター 岩井俊二/著(文藝春秋)

亡くなった姉の代わりに出席した同窓会で、妹は初恋の人に再会する。姉のふりをして始めた文通が、過去と現在をつないでいく。映画化作品の原作。

○魔眼の匣の殺人

今村昌弘/著(東京創元社)

閉ざされた施設で起こる連続殺人事件。映画化された『屍人荘の殺人』に続くシリーズ第2弾。

○白銀の墟 玄の月①～④

小野不由美/著(新潮文庫)

ファンタジー小説『十二国記』シリーズ最新作。

○記憶屋0 織守きょうや/著(角川文庫)

つらい記憶を消してくれるという都市伝説の「記憶屋」。人々の忘れた記憶にまつわる切ない物語。

○4分間のマリーゴールド キリエ/原作

手を重ねた相手の最期の姿が見えてしまう青年は、その運命を変えられないことに苦しむ。ある日最愛の人の最期を知り…。TVドラマ作品の小説版。

○マカン・マラン 二十三時の夜食カフェ

○女王さまの夜食カフェ マカン・マランふたたび

サラリーマンからドラッグクイーンに転身したシャールの夜食カフェには、様々な悩みを抱えた人々が訪れる。 古内一絵/著(中央公論新社)

○ぼくは本を読んでいる。

ひこ・田中/著(講談社)

親の本棚の『小公女』や『あしながおじさん』をこっそり読み始めた少年は、さまざまなことを考える。

○Iの悲劇 米澤穂信/著(文藝春秋)

荒廃した集落に人を呼び戻すIターンプロジェクト「蘇り課」。職員が直面する移住者たちの謎とは？

○かんもくって何なの！？

モリナガアメ/著(合同出版)

しゃべれない日々を抜け出した女性の実録マンガ。

○僕が神さまと過ごした日々

アクセル・ハッケ/著(講談社)

ある日出会った不思議な老人(神さま)と過ごすうちに、僕の心に変化が現れる。

○ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー

ブレイディみかこ/著(新潮社)

イギリスで暮らす日本人女性が、「元・底辺中学校」に通う息子を通して世界の縮図に直面する。悩みとまどい一つも成長していく親子の実話。